

政策シート (政策名) 都心の都市機能の強化

(予算費目名) 市街地整備事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

○高次な都市機能の集積を図るとともに、商業、医療・福祉施設、子育て支援施設などの立地を促進することにより都心居住を推進する。
○建物のリノベーションや低・未利用地の活用により、新たな産業の起業・集積を促進し、都心部での雇用を創出するとともに、文化創造の拠点を形成する。

◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	27,996	325,045	1,344,294	2,044,835	2,873,694
決算	27,227	85,805	945,292	2,207,058	
人件費(A)	35,000	38,500	41,300	54,600	54,600
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	62,227	124,305	986,592	2,261,658	2,928,294

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
旭・板屋A地区の進捗率(%)	%	100	目標	0.7	3	23.9	40	100
			実績	0.7	5.8	22.7	58	
リノベーションスクールの検討戸数	戸	30	目標	3	9	13	16	19
			実績	3	9	13	16	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

○高次な都市機能の集積を図るとともに、商業、医療・福祉施設、子育て支援施設などの立地を促進することにより都心居住を推進する。
○建物のリノベーションや低・未利用地の活用により、新たな産業の起業・集積を促進し、都心部での雇用を創出するとともに、文化創造の拠点を形成する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

○旭・板屋地区A-1地区、A-2地区については、権利変換計画の認可を行い、建築設計費、建築物除却費、補償費、共同施設整備費の執行に向けて、補助金を交付するとともに、必要な指導、事務手続きを行うことで事業促進を図った。
○都市機能更新事業については、リノベーションスクールを1回開催し、3物件の検討を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	市街地再開発組合支援事業	○	○	○		2,890,300	2,863,000	3.9				
2	都市機能更新促進事業	○	○	○		37,994	10,694	3.9				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						2,928,294	2,873,694	7.8				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 市街地再開発組合支援事業

◇事業目的・事業対象

・旭・板屋A地区第一種市街地再開発支援事業 土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図り、多様な都市機能を持つ拠点を整備し、中心市街地の活性化に寄与することを目的とする。
 ・常盤町西街区優良建築物等整備支援事業 土地利用の高度化、市街地環境の向上及び都心居住の推進を図り、中心市街地の活性化に寄与することを目的とする。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.9、86】【R1-R4重点戦略項目No.29】
 ・旭・板屋A-1地区 地区面積 2,186㎡ 建築敷地面積 1,136㎡ 建物延床面積 8,245㎡
 構造規模 鉄骨造、地上13階/地下1階 主な用途：ホテル、店舗、業務施設、駐車場(40台)
 ・旭・板屋A-2地区 地区面積 7,757㎡ 建築敷地面積 3,576㎡ 建物延床面積 38,274㎡
 構造規模 RC造、地上30階/地下1階 主な用途：住宅(246戸)、店舗、業務施設、駐車場(231台)
 【その他】
 ・常盤町西街区 地区面積 3,430㎡ 建築敷地面積 2,837㎡ 建物延床面積 18,216㎡
 構造規模 RC造、地上15階 主な用途：住宅、都市福利施設、駐車場
 ※「浜松市市街地再開発事業費補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	R1	一般会計	自治事務(その他)	都市再開発法 浜松市市街地再開発事業等補助金交付要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	26,600	311,000	1,331,548	2,032,000	2,863,000
	決算	26,052	72,269	932,954	2,196,47	
	国・県支出	12,000	33,000	466,477	1,097,910	1,373,000
	市債		32,000	389,200	881,800	1,074,600
	その他					
	一般財源	14,052	7,269	77,277	216,769	415,400
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		18,900	23,100	30,800	27,300	27,300
人工	正規	2.7	3.3	4.4	3.9	3.9
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市街地再開発事業の実施により、都市機能の高度化、防災性の向上、都市拠点の形成、都心居住の促進を図ることで、包括的かつ持続可能な都市化を促進する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
旭・板屋A地区の進捗率(%)					-		9・86	29
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	0.7	3	23.9	40	100	100	100	
実績値	0.7	5.8	22.7	57.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
歩行者通行量(休日・主要8地点)(人)					Ⅲ-2(3)ア			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	101,380	103,360	105,340	107,320	109,300	114,750	118,380	
実績値	90,313	90,958	105,102	102,049				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
都心の居住人口(人)					Ⅲ-2(3)ア			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	11,700	12,060	12,410	12,750	13,100	14,150	14,840	
実績値	11,614	11,707	11,770	11,822				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.9、86】

・旭・板屋A-1地区

地区面積 A=2,186㎡ 建築敷地面積 A=1,136㎡ 建物延床面積 A=8,245㎡
 構造規模 鉄骨造 地上13階/地下1階
 主な用途 ホテル、店舗、業務施設、駐車場(40台)

・旭・板屋A-2地区

地区面積 A=7,757㎡ 建築敷地面積 A=3,576㎡ 建物延床面積 A=38,274㎡
 構造規模 RC造 地上30階/地下1階
 主な用途 住宅(246戸)、店舗、業務施設、駐車場(231台)

「浜松市市街地再開発事業費補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・旭・板屋A地区について、共同施設整備費の執行に向けて、補助金を交付するとともに、必要な指導、事務手続きを行うことで事業促進を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成30年度内の共同施設整備費の執行に向けて、補助金を交付するとともに、必要な指導、事務手続きを行うことで事業促進を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・旭・板屋A地区について、平成31年度内の建築工事の着実な推進に向けて、補助金を交付するとともに、必要な指導、事務手続きを行うことで事業促進を図る。

・常盤町西街区について、平成31年度内の建築工事の着実な推進に向けて、補助金を交付するとともに、必要な指導、事務手続きを行うことで事業促進を図る。

補助シート (事業名) 市街地再開発組合支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
29	建設工事完了	—	—	—

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
9,86	【旭・板屋A地区第一種市街地再開発支援事業】 土地・建物等現況調査 都市計画変更	基本設計 事業計画作成 再開発組合等設立 実施設計	実施設計 権利変換計画作成・認可 解体工事 建設工事着手	建設工事中

事業シート (事業名) 都市機能更新促進事業

◇事業目的・事業対象

都市の中心部における、建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関し必要な支援を行うことにより、都市環境の安全性の向上と都市機能の増進を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.30, 32】

浜松市都市再生促進地区における建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関する条例(略称 浜松市都市再生促進条例)に基づき、都市再生促進地区内の建築物等及び土地の所有者等に対し、指導及び助言等を行うことにより、適正な管理を促す。

浜松市都市再生促進条例に基づき、都市再生促進地区内の空き家、空き床又は空き地の所有者等に対し、リノベーションシンポジウム及びリノベーションスクールを開催することにより、活用を促す。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務	浜松市都市再生促進地区における建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関する条例	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,396	14,045	12,746	12,835	10,694
	決算	1,175	13,536	12,338	10,579	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	1,175	13,536	12,338	10,579	10,694
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		16,100	15,400	10,500	27,300	27,300
人工	正規	2.3	2.2	1.5	3.9	3.9
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

都市機能更新促進事業の推進により、包摂的かつ持続可能な都市化を促進する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
リノベーションスクールの検討戸数(戸)					-		30, 32	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	3	9	13	16	19	28	30	
実績値	3	9	13	16				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

浜松市都市再生促進地区における建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関する条例(略称 浜松市都市再生促進条例)に基づき、都市再生促進地区内の建築物等及び土地の所有者等に対し、指導及び助言等を行うことにより、適正な管理を促す。
 浜松市都市再生促進条例に基づき、都市再生促進地区内の空き家、空き床又は空き地の所有者等に対し、リノベーションシンポジウム及びリノベーションスクールを開催することにより、活用を促す。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

管理が不十分な建物所有者(1件)に対しては、適切な指導を行なった。

リノベーションシンポジウムを2回及びリノベーションスクールを1回開催し、4物件の活用策を検討したところ、1件が活用、3物件が活用検討中であり、成果を得た。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

空き家、空き床等の所有者等に対し普及啓発を行い、意識の高揚を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

リノベーションスクール等を継続し、一層の普及啓発を図るとともに、対象となった物件の事業化を促進する。

補助シート (事業名) 都市機能更新促進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
30 ・ 32	リノベーションスクール で 3物件の遊休不動産の 利活用方方策を検討。 (累計:19件)	リノベーションスクール で 3物件の遊休不動産の 利活用方方策を検討。 (累計:22件)	リノベーションスクール で 3物件の遊休不動産の 利活用方方策を検討。 (累計:25件)	リノベーションスクール で 3物件の遊休不動産の 利活用方方策を検討。 (累計:28件)

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30